

J O C S 祈りの花束

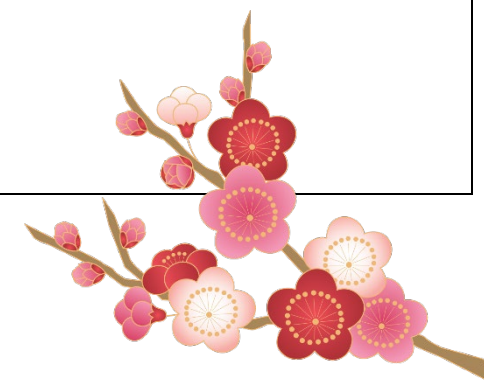
2024年2月

今月のみことば: 苦しむ人に良い知らせを伝えるため、主が私を遣わされた。(イザヤ 61:1)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1 岩本直美ワーカーのため、とくに健康が守られるように(バングラデシュ)	2 能登半島地震で被災された方々のため。その方々の支援に関わる保健医療従事者のため	3 広報活動のため(本日と明日、ワン・ワールド・フェスティバルに出展@梅田スカイビル)
4 戦争・紛争の中で保健医療活動に従事する人々のため	5 冬期募金のため	6 新しいワーカーが与えられるように	7 理事会のため	8 使用済み切手収集活動のため	9 JOYJOYプロジェクトのため(バングラデシュ・岩本直美さん派遣先)	10 地区 JOCS の働きのため(本日、仙台きつてきっぺ開催)
11 信教の自由が、どこにおいても守られるように。信仰の多様性を認め合うことができるように(本日、信教の自由を守る日*1)	12 実施中のタンザニアのプロジェクトの進捗評価のため	13 シロアムプロジェクト(協働プロジェクト)のため(ケニア)	14 生活をシンプルにすることによって苦悩する人々と共に歩めますように(灰の水曜日。本日からレント・四旬節)	15 財務委員会のため(本日、オンライン開催)	16 実施中のカンボジアのSALTプロジェクト(協働プロジェクト)終了時評価のため	17 地区ボランティアグループのため(本日、オンラインミーティング開催)
18 JOCS の会員のため(特に宮崎県の会員のため。現在2名)	19 事務局スタッフのため	20 JOCS に協力するボランティアの方々のため	21 すべての人の母語とその文化が尊重されるように(本日、国際母語の日*2)	22 JOCS の奨学生のため(特にバングラデシュの奨学生のため。現在4名)	23 会員・支援者の増強のため	24 奨学金カウンターパートのため
25 ママ・ナ・ムトプロジェクト(協働プロジェクト)のため(タンザニア)	26 会報誌「みんなで生きる」のため	27 関西事務局の働きのため	28 会長、常務理事、事務局長のため	29 選挙管理委員会のため(本日、委員会開催)		

* 1: 日本キリスト教団・バプテスト連盟などの諸教会で制定された日。

* 2: International Mother Language Day (ユネスコが制定した国際デー。1952年、当時パキスタンの一部であったバングラデシュで起きたベンガル語公用語化運動に由来する。)



みことばの黙想

2024年 2月

これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの昼の祈りから取られたものです。

より深くみことばを味わいたい方は、出典箇所を参照して文脈のなかでみことばを黙想なさってください。

聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

1日（木）

1テサロニケ 2:1-12

わたしたちは、福音をゆだねられているからこそ、このように語っています。人に喜ばれるためではなく、わたしたちの心を吟味される神に喜んでいただくためです。

2日（金）

ルカ 2:22-38

† 主の奉獻

シメオンは幼子イエスを見ると、神をたたえて言った。「主よ、今こそあなたは、お言葉どおりこの僕(しもべ)を安らかに去らせてくださいます。わたしはこの目で万民のために整えてくださった、あなたの救いを見たからです。」

3日（土）

1ペトロ 5:1-4

ペトロは記す。「あなたがたにゆだねられている、神の羊の群れを牧しなさい。強制されるのではなく、神に従って、自ら進んで世話をしなさい。」

4日（日）

マルコ 1:29-39

朝早くまだ暗いうちに、イエスは起きて、人里離れた所へ出て行き、そこで祈っておられた。弟子たちはイエスを見つけると、イエスは弟子たちに言われた。「近くのほかの町や村へ行こう。そこでも、わたしは宣教する。」

5日（月）

アモス 8:11

アモスの預言。見よ、その日が来ればと、主なる神は言われる。わたしは大地に飢えを送る。それはパンに飢えることでもなく、水に渇くことでもなく、主の言葉への飢えと渇きだ。

6日（火）

ホセア 14:2-9

主は言われる。「わたしは背く彼らをいやし、喜んで彼らを愛する。」

7日（水）

ヨエル 2:12-13

主は言われる。「今こそ、心からわたしに立ち帰れ。あなたたちの神、主に立ち帰れ。主は恵みに満ち、憐れみ深い。」

8日（木）

マタイ 6:5-8

イエスは言われた。「祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を閉め、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたことを見ておられるあなたの父が報いてくださる。」

9日（金）

エフェソ 2:1-10

神は、罪のために死んでいたわたしたちを、キリストと共に生かしてくださいました。

10日（土）

マルコ 5:1-20

いやされた人にイエスは言われた。「自分の家に帰りなさい。そして身内の人に、主があなたを憐れみ、あなたにしてくださいました。をことごとく知らせなさい。」

11日（日）

マルコ 1:40-45

重い皮膚病を患っている人が、イエスのところに来て言った。「御心ならば、わたしを清くすることがおできになります。」イエスが深く憐れんで、手を差し伸べてその人に触れ、言われた。「よろしい。清くなれ。」

12日（月）

イザヤ 41:8-10

主は民に言われる。「あなたはわたしの僕(しもべ)、わたしはあなたを選び、決して見捨てない。恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。」

13日（火）

ルカ 17:11-19

イエスにいやされたことを感謝しに戻って来たサマリア人に、イエスは言われた。「立ち上がって、行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」

14日（水）

マタイ 6:1-6

† 灰の水曜日

イエスは言われた。「施しをするときは、右の手のすることを左の手に知らせはならない。あなたの施しを人目につかせないためである。そうすれば、隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。」

15日（木）

ヘブライ 8:6-13

主は言われる。「わたしの民は同胞に『主を知れ』と言って教える必要はなくなる。小さな者から大きな者に至るまで、彼らはすべてわたしを知るようになる。」

16日（金）

2コリント 5:18-21

パウロは記す。「神は、キリストを通してわたしたちを御自分と和解させ、また、和解のために奉仕する任務をわたしたちにお授けになりました。」

17日（土）

イザヤ 53:1-12

主は言われる。「わたしの僕(しもべ)は自らの苦しみの実りを見、それを知って満足する。わたしの僕は、多くの人が正しい者とされるために、彼らの罪を自ら負った。」

18日（日）

マルコ 1:1-15

イエスは言われた。「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」

19日（月）

ルカ 5:29-32

イエスは言われた。「医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである。」

20日（火）

ネヘミヤ 8:8-12

ネヘミヤの言葉。「悲しんだり、嘆いたりしてはならない。主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源。」

21日（水）

ヘブライ 13:1-8

わたしたちは、はばからずこのように言うことができます。「主はわたしの助け手。わたしは恐れない。」イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることのない方です。

22日（木）

詩編 31

わたしにふさわしいときに、御手をもって、追い迫る者、敵の手から助け出してください。あなたの僕(しもべ)に御顔の光を注ぎ、慈しみ深く、わたしをお救いください。

23日（金）

使徒言行録 4:1-22

キリストこそ、家を建てる者に捨てられたが、隅の親石となった石。

24日（土）

1テサロニケ 1:1-7

パウロはテサロニケの人々にこう書き送った。「あなたがたはひどい苦しみの中で、聖霊による喜びをもって御言葉を受け入れ、信者の模範となったのです。」

25日（日）

ローマ 8:31-39

だれがわたしたちを罪に定めることができましょう。死んだ方、否、むしろ、復活させられた方であるキリスト・イエスが、神の右に座っていて、わたしたちのために執り成してくださいるのです。

26日（月）

詩編 8

わたしたちの主よ、あなたの御名は、いかに力強く、全地に満ちていることでしょう。天に輝くあなたの威光をたたえます。幼子、乳飲み子の口によって。

27日（火）

ホセア 6:3-4,6

主は言われる。「わたしが喜ぶのは、愛であっていけにえではない。神を知ることであって、焼き尽くす捧げ物ではない。」

28日（水）

1テサロニケ 3:6-13

パウロはテサロニケの信徒たちにこう書き送った。「わたしたちは、あらゆる困難と苦難に直面しながらも、あなたがたの信仰によって励まされました。」

29日（木）

2コリント 7:1-7

パウロは記す。「わたしたちの身には全く安らぎがなく、外には戦い、内には恐れがあったのです。しかし、気落ちした者を力づけてくださる神は、わたしたちを慰めてくださいました。」